

別紙

株式会社タカキベーカリー千代田工場温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

株式会社タカキベーカリー 千代田工場

(2) 事業所の所在地

〒731-1531 広島県山県郡北広島町春木1435

(3) 業種

パン製造業 0971

(4) 従業員数

380人

(5) 事業所位置図

別紙（平面図）のとおり

2 計画の期間

平成27(2015)年度を基準年度とし、平成29(2017)年度から平成34(2022)年度までの6年間とする。

3 計画の基本的な方向

1. 基本的な考え方

当社は、企業活動の目的である“社会の進歩に役立つ”というスローガンの下、環境の保全をその目的達成の為の課題と位置付け、環境への負荷を低減するべく温室効果ガスの排出規制に努めていきます。

2. 方針

- ・ 省エネルギー、省資源の推進
- ・ 各省エネ機器の導入
- ・ 廃棄物の排出規制
- ・ 社員への環境教育の徹底

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	活動の区分	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
		平成2年度	基準年度 平成27年度	直近年度 平成28年度
二酸化炭素	燃料の使用		1,717	1,682
	他人から供給された電気の使用量		9,177	8,663
合 計			10,894	10,345

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	活動の区分	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
		平成2年度	基準年度 平成 年度	直近年度 平成 年度
二酸化炭素				
合 計				

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	活動の区分	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
		平成2年度	基準年度 平成 年度	直近年度 平成 年度
メタン				
一酸化二窒素				
HFC PFC SF ₆				
合 計				

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《原単位を削減目標とする場合》

原単位：売上高（百万円）

単位：排出量(t-CO₂)，原単位数，削減率(%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成27年度)			原単位 削減目標	目標年度 (平成35年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂	10,894	9,153	1.190	6.3	9,500	8,520	1.115
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
総排出量	10,894	9,153	1.190	6.3	9,500	8,520	1.115

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	燃料使用量の削減	原単位6.3%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気配管断熱 ・温水配管断熱 ・オープン空炊き時間削減 ・蒸気トラップ点検整備 ・蒸気バルブ省エネタイプに変更
2	電気使用量の削減	原単位6.3%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・フリーザー冷凍機更新 ・エアーコンプレッサー台数制御 ・冷凍設備温度の管理 ・エアー機器整備 ・冷凍機効率運転の管理 ・LED照明器具への更新 ・照明消灯の徹底 ・急速凍結庫の起動・停止徹底管理
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 環境に配慮した実践的な取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	リサイクル率の向上	リサイクル率6%アップ	・廃棄物の資源化（プラスチックの分別収集） ・コピー用紙裏面使用
2	廃棄物排出量の削減	廃棄物排出量6%削減	・分別収集の徹底
3			

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

工務課を中心として、毎月の燃料及び電気使用量を把握し、削減計画の取り組み状況の点検及び問題点の検討を行う。

(3) 計画の公表

工場内掲示板に表示する。